

ゆうあい



VOL 51

特別養護老人ホーム ゆうあいホーム / 大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里 / ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所 / デイサービスセンターゆうあいホーム / 訪問介護事業所ゆうあい / 居宅介護支援事業所ゆうあい / 訪問入浴介護事業所ゆうあい / 訪問看護事業所ゆうあい / 介護タクシーゆうあい / 小島新聞の家デイサービスセンター / 小島新聞の家デイサービス事業所
発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4-8-8 TEL 0827-57-7500 発行責任者 立山 道男

「鬼」の話

今年5月20日に行われましたゆうあい祭りでも神楽演目が好評を博しました。派手な衣装を身につけた演じる人の立ち振る舞い、笛の音と太鼓のリズム、これらが混然一体となって見る人を大いに楽しませていると思います。



(2006年度ゆうあい祭りより)

神楽の主役ともいえる鬼は最近お面を見ることも少なくなり、キャラクターとしても埋もれた存在になっているように思います。現代は次から次へと新しいキャラクターが生み出されますから、鬼の面を見る機会が減っても仕方のないことなのでしょう。鬼が出る神楽の代表例である大江山は、京都福知山市北方に位置する833mの現存する山で、麓には鬼獄稲荷神社があります。

一説によれば源頼光が討伐したのは鬼ではなく、藤原氏に反抗して山に逃れ、住民や通行人から作物や持ち物を奪った一味だという話があります。しかし、奪われた方にとっては、相手は髪、髭が伸び放題でその恐ろしげな風貌のため鬼に見えたに違いありません。このような話が童話的な鬼退治として語り継がれ、神楽の題材になったと考えられます。
(事務長 瀬戸 治雄)



(2007年度ゆうあい祭りより)